

平成26事業年度

# 決算報告書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)



国立大学法人  
東京医科歯科大学

**平成26事業年度 決算報告書**  
(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

国立大学法人東京医科歯科大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	14,066	14,412	346	(注1)
施設整備費補助金	1,047	1,032	△ 14	(注2)
補助金等収入	1,200	1,709	508	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	49	49	-	
自己収入	33,047	33,908	860	
授業料、入学料及び検定料収入	1,582	1,613	30	(注4)
附属病院収入	30,957	31,686	729	(注5)
財産処分収入	40	38	△ 1	(注6)
雑収入	467	569	101	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,194	5,771	1,577	(注8)
引当金取崩	-	198	198	(注9)
長期借入金収入	1,091	1,076	△ 15	(注10)
目的積立金取崩	59	332	272	(注11)
計	54,756	58,490	3,733	
支 出				
業務費	43,458	45,262	1,804	
教育研究経費	12,621	12,183	△ 438	(注12)
診療経費	30,836	33,079	2,242	(注13)
施設整備費	2,188	2,158	△ 30	(注14)
補助金等	1,200	1,709	508	(注15)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,194	5,622	1,428	(注16)
長期借入金償還金	3,715	3,681	△ 33	(注17)
計	54,756	58,434	3,678	
収入－支出	-	55	55	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、主に過年度より繰越した退職手当分等により増加したため、予算額に比して決算額が346百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、施設整備費補助金の受入額が設計変更等により見込みを下回ったため、予算額に比して決算額が14百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、補助金等の受入額が見込みを上回ったため、予算額に比して決算額が508百万円多額となっております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、学生納付金の増により、予算額に比して決算額が30百万円多額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、主として新規施設基準取得等による診療単価の増及び患者数の増等に伴う増収により、予算額に比して決算額が729百万円多額となっております。
- (注6) 財産処分収入については、土地の売却額が見込みを下回ったため、予算額に比して決算額が1百万円少額となっております。
- (注7) 雑収入については、主に財産貸付料等の増収に努めたことにより、予算額に比して決算額が101百万円を多額となっております。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった国等からの受託研究の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が1,577百万円多額となっております。
- (注9) 退職手当及び賞与の支払いに伴い、相当額について引当金を取り崩したことにより、198百万円を計上しております。
- (注10) 長期借入金収入については、(注2)に示した理由により、借入金額を変更したため、予算額に比して決算額が15百万円少額となっております。
- (注11) 目的積立金取崩については、一部計画の見直しを行ったため、予算額に比して決算額が272百万円多額となっております。
- (注12) 教育研究経費については、セグメント調整に伴い、教育研究経費のうち診療に係る人件費を診療経費に計上したこと等により、予算額に比して決算額が438百万円少額となっております。
- (注13) 診療経費については、(注5)で示した理由による附属病院収入の増収に伴う医薬品費・診療材料費等の増及び(注12)で示した理由等により、予算額に比して決算額が2,242百万円多額となっております。
- (注14) 施設整備費については、(注2)及び(注10)で示した理由により、予算額に比して決算額が30百万円少額となっております。
- (注15) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が508百万円多額となっております。
- (注16) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注8)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,428百万円多額となっております。
- (注17) 長期借入金償還金については、予算段階で予定されていた借入金返済利率が変更となったことにより、予算額に比して決算額が33百万円少額となっております。